

学校の先生と塾の先生ではどちらが上か

センター協力研究員（東京大学大学院総合文化研究科助教授） 丹野 義彦

塾や予備校の先生のお話を聞くと、いつも感心する。第2回プロジェクト研究会で、塾の先生が子供の学力について話された。こうしたお話を聞くと、筆者はいつも「学校は塾や予備校にかなわない」と思ってしまう。しかし、本当にそうなのだろうか。

筆者は、以前、「学校の先生と塾の先生ではどちらが上か」という調査をしたことがある。東京大学の1・2年126名を対象として、26の項目をあげ、A：確実に学校の先生の方が上だった、B：どちらかといえば学校の先生の方が上だった、C：どちらかといえば塾・予備校の先生の方が上だった、D：確実に塾・予備校の先生の方が上だった、の4つの選択肢の中から選んでもらった。その結果は表のとおりである。数値は、AとBの合計の％であり、「学校の先生の方が上」と答えた学生の割合を示している。

この表をみると、学校の先生が上であると評価されたのは、26項目中17項目であった。これに対して、塾・予備校の先生が上とされたのは、26項目中9項目であった。表の中に「総合的にみてどちらを高く評価するか」という項目があるが、全体の71％の学生は、学校の先生が上と答えている。また、「自分が先生になるなら、どちらになりたいか」という項目があるが、58％の学生は学校の先生になりたいと答えている。

表からわかるように、学校の先生が上だと思われているのは、おもに生活面での指導である。例えば、クラブ活動、社会生活・集団生活のルール、スポーツなどの指導や、非行などの問題のある生徒に対する対応などである。また、人格的な面でも学校の先生に対する評価は高い。例えば、「悩みや相談に行ったときの対応」、「人間としての暖かみ・人格の深さ」、「生徒とのコミュニケーションの質」、「自分の生き方によい影響を与えた」といった項

目は、学校の先生が高い値を示している。

これに対し、塾・予備校の先生が上なのは、おもに学習指導面である。「学習指導の技術・巧みさ」「学習の進んだ生徒に対する学習指導」などは、塾・予備校の先生が上にきている。また、ほとんどの学生は「経済的収入」は塾・予備校の先生が上とみている。

なお、出身高校を公立と私立に分けてみると、一般に私立高出身者の方が、学校の先生に対する評価は高かった。また、塾に通った年数を調べると、一般に、塾に長く行っているほど、塾への評価が高くなる傾向がみられた。

このように、学生たちは、学校の先生の優れたところや、塾・予備校の先生の優れたところを分けて見ている。つまり、学校と塾の機能を分化的に捉えている。総合的には、学校の先生が上と考えられている。学校の先生もまだまだ捨てたものではない。

余談になるが、塾や予備校の影響を大きく受けたのは大学の一般教育である。予備校に比べて、大学の教養部はあまりにつまらない。ここ数年で全国の大学から教養部が消えてしまったが、その原因の一端は予備校の魅力にあるのではなかろうか。大学教養部の教師である筆者には、そうしたひがみもあるのだが、今回の調査結果を見て、少し安心したのである。学校の先生もまだまだ捨てたものではない。

それにしても、塾や予備校は、学校と対等になりつつあり、ある面では確実に学校を抜いている。サンプルにやや偏りはあるが、この調査はそうしたことを反映しているだろう。今や、筆者も含めて学校の先生は、安心してひがんだりするだけでは済まない時代に来ているといえよう。

表 学校の先生と塾・予備校の先生ではどちらが上か

学校の先生の方が上	クラブ活動や趣味などの面での指導……………96%
	社会生活・集団生活のルールの指導……………94%
	スポーツや健康面の指導……………93%
	非行などの問題のある生徒に対する対応……………93%
	生活面の指導の熱心さ……………92%
	生活面の指導の技術・巧みさ……………88%
	悩みや相談に行ったときの対応……………85%
	人間としての暖かみ・人格の深さ……………79%
	市民としての社会的ステータス……………77%
	生徒とのコミュニケーションの質……………76%
	学習の遅れた生徒に対する学習指導……………75%
	自分の生き方により影響を与えた……………73%
	総合的に見て、どちらを高く評価するか……………71%
	社会の動きに関心をもたせる学習指導……………68%
	好ましい先生の多さ……………64%
	生徒の学習進度に応じた学習指導……………59%
自分が先生になるなら、どちらになりたいか…58%	
塾・予備校の先生が上	学習上の質問に行ったときの対応……………48%
	人間としての活力・やる気……………44%
	学習指導の能力差（が先生間で少ないこと）…43%
	学習指導の熱心さ……………41%
	生徒の扱いに差がない（えこひいきしない）…30%
	問題のある先生の少なさ……………30%
	学習の進んだ生徒に対する学習指導……………25%
	学習指導の技術・巧みさ……………16%
	経済的収入（生活レベルなどから推測して）…10%

数字は「学校の先生が上」と答えた学生の割合を示す。

数値が低いことは「塾・予備校の先生が上」と答えた学生が多いことを示す。